

## 第 7 次本別町総合計画策定審議会 産業建設部会会議

期 日 令和 2 年 2 月 1 8 日 (火)

18 : 30 ~ 20 : 51

会 場 本別町中央公民館第 2 会議室

新津部会長、井出委員、本間委員、事務局：高橋課長、長屋課長補佐、宮内主任

## 1. 開 会

## 2. 新津部会長あいさつ

みなさんお晩でございます。たいへんお疲れの所、お集まりいただき、ご苦労様でございます。本日は第 7 次総合計画策定審議会産業建設部会ということで、自分も前回審議会に出席できなかったもので、少し流れるにわからないこともありますけれども、皆さんの協力を得て進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 3. 議 事

## ① 2 章 1 節 1 項 農業の振興、2 項 林業の振興 について

## 事務局説明

11 月 14 日配布資料 1 30 ページから 62 ページ

- ・基本方針⇒安全・安心で良質な農畜産物の安定供給／農業が持つ多面的機能の発揮／農業の持続と発展／6 次産業化、農業所得の向上、雇用創出／持続可能な森林づくり／地域材の利用拡大／森林整備の担い手育成
- ・事前質問=2-1-2 (5) 森林の持つ公益的機能の啓発 **本日配布資料** 4 ページ  
なぜ誕生祝いで積み木？⇒ 本別にある会社が作成。木製品の知育玩具が子どもの育ちに良いとの考え。
- ・事務局評価 A  
集積化達成率 110.96%／基盤整備により農作業事故減と収穫量増・品ひつ向上／キレイマメ原料確保／TMR センター稼働・コントラクター会社設立／土づくり／有害鳥獣／乳量回復／肉牛安定／新規就農 3 件／伐採後植栽の実施／農業・森林の多面的機能発揮／林地台帳整備／林道の維持管理／ツリーフェスティバル 等の実績効果がある

## 委員より意見・質問

委員：農地の集積化の達成率は 110.96% となっている。良いこと。本別の場合は規模拡大してきていて、機械も大型化している。場所によっては短い畑であったり、小さな区画で大きくできない所もある。10 年ほど前に国の事業で一区画 15 h a にする事業も鹿追であったが本別では農地の関係からできない状況。三角形だとか排水があるとか。大きな区画に整備することによって手間だとか、燃料を減らすことができる。バイオマスの関係も調書には記載されていた。本別も今後やっていくのか？

委員：事務局評価にも書かれているとおり、TMR センターが稼働し、酪農家もメガファーム化してきて、大規模化する農家もどんどん増えてきている。そこでどうしても問題になってくるのが糞尿処理。これはどうしても避けられない。大規模化していくとスラリー化された糞尿処

理をどう処理していくか、課題になってくる。メガファーム化されてきた農家がだいたい 10 戸ある。まだまだ増えていく状況。生産性は確保されてきているが、スラリー化した糞尿の問題をバイオマスを行って、発電後に出る副産物を土に入れていくのか、別の方法で処理するのかという選択に迫られている。今後、糞尿処理の問題は避けて通れないので、行政と農協と共同していかなければならない。

**委員：**酪農地帯はバイオマスを行いたい構えでいる。ただ、送電線だとか色々あって見通しが立っていない。

**事務局：**固定資産税の減免については対応できると思うが、ほくでんの送電環境が本別においては 1 経路しかない現状。ここ 5 年の間に増設計画もあるように聞いている。鹿追町や上士幌町のように事業を行って、自分たちで使えるようになれば、災害が起きた時にも心強い。そして地域で使えるようになれば農家も売電収入が得られ、残渣物を堆肥として使用することができる。また、熱が出るので鹿追ではチョウザメ飼育、マンゴー栽培などに使っている。

**委員：**畑地規模拡大の中で地籍を進めていかなければ、一区画を大きくするにしても難しくなってくる。

**事務局：**地籍調査は現在、調査準備段階ということで導入に向けて進んでいくと思われる。

**委員：**大きく規模を拡大してきている人は機械も大型化してきている。昔から機械を買って借金をつくって、返せなくなる人もいた。今も機械を買うために借金をしてやっていると思う。特に若い人はスマート農業に興味を持っていて、後継者としてやっていく条件にもなっているとも聞く。機械は高額。

**事務局：**農業はここ数年、農業所得も上がっていて好調。農業基盤が安定しているから後継者も多くいる。継続して農業をしている人もいる。人口減少の中、人口維持や税入の面でも農業は貢献している。しかし、子どもの数が減っているなど人手不足もある。

**委員：**よく 6 次産業化ということばが出てくる。6 次産業化は本別としても進めていかなければならない。それには若い人の発想を取り入れて行く必要がある。高校生や中学生も含めて、食べ物にしても、何を作るにしても、進めてほしい。

**事務局：**ゲンキッチンに何人かの農家のご婦人がミルクジャムをつくったり、チーズにも挑戦している。

**委員：**今、ご意見あったように、バイオマス発電の設備をつくるためには、6 次化に向けた副産物をつくることで国の補助が適用になる。売電だけでは補助金が出ない。副産物としてハウスで熱を利用してバナナをつくるとか。6 次化の計画と合わせて提出しないとならない。

**委員：**浦幌町では子どもたちが総合学習の時間に浦幌のまちを海や山を含め全部まわる。見て色々なことを考える。化粧品の開発とかもしている。

**事務局：**お子さんの発想は夢があって良い。

**委員：**浦幌の子どもたちが発表するときに町長だとか農協の組合長とかも参加して関心している。子どもたちが参加することにより、浦幌に愛着を持つ。そして浦幌に定着するようになる。本別では若い人が出て行ったら大変なことになる。

**事務局：**農業の若手経営者、あるいは現役の方が、先ほど 1 枚あたりの耕作地を大きくする話が出ていた。糞尿処理の話もありましたけれど。その他に何かありますか。

**委員：**畑経営をしている若い人たちは、農地を求めて、遠くの地でも、本別の端から端までも通い作をしている人がすごく多い。そうして耕作面積を維持していくことをしている。集積化、流動化といっても自分の持っている農地に機械を入れて畑を広げたりと部分的にはやっている。

交換分合でやって土地を使いやすいようにした方が良いとは思いますが、自分がきちんと管理してきた土地をそう簡単に集積と言われても渡せない。難しい。

**事務局：**色々条件も違うでしょうしね。水とか日当たり、収量など。これまで投資してきた額もあるでしょうし。それは言われていて、でも通い耕作に時間がかかるとか大変でしょう。

**委員：**トラクターも性能が良くなって、時速 35 km以上を出せるトラクターが出てきて、遠くても気にしない時代になってきた。移動距離というのが苦にならない。

**委員：**土地をまとめることができたら良いと思う。町や農協で指導してもらって、みんなが納得してもらえるように考えていかなければ、移動する人は大変。

**事務局：**人口減対策のため地方制度推進委員会では新規就農者をもっと呼ぼうと。ところが農家戸数が減ってきていて、農家戸数も増やしたいが現実には離農された人の土地を求めている。大規模化が進んでいるので、戸数も増えてほしいけれども、土地が足りないのではないか。都会から来て小規模で野菜を作るだとか、1 haに満たないぐらいの規模で経営する人を呼んではどうかと、簡単に言うが現実には難しいことか。

**委員：**難しい。最終的には収支のバランスが上手くいかないと経営が成り立っていない。

**事務局：**素人感覚ではミニトマトなどの野菜を作ればと言うが難しい。

**委員：**本別では新規就農者が育たないと言われる。考えてみたら足寄の上の方と比べてみると本別は何でも採れる。そのことは評価しないで、土地の値段が高いという。世界的にはオーストラリアと比べると耕作面積は少ない。そこと競争しようとしても無理な話。

**事務局：**例えば不整形地というか、いびつな所で小規模な農業を営むチャンスがあるのか。一定の収入がないと生活できないとなると厳しいのか。

**委員：**本別では耕地が、採草地を含め 10,000 ha。農家戸数は 260 数戸。これが仮に 200 戸になったときに、平均 50 haとなる。50 haない人も 70 ha、80 haを耕作している人もいるが 20 haの人もまだまだいる。若い人が後継者で 20 haの所有でまだまだ増やしたいと思っている人もいるが上手くいかない。

**委員：**本別は土地の価格も高い。農業委員会では、昔は隣地優先となっていたが、最近では生活があるから借りて耕作者している人が優先となっている。売る人にとっては、これぐらいで売りたいとの希望がある。

**委員：**そのあたりの見極めが、農業委員会の立場的にはたいへん難しくなっている。だから賃貸であちこち借りている農家が相当いる。その借りている土地があっせんに出た時に、これまで 5 haであった耕作地が隣地に売買するとなると今まで作っていた人の面積が減ることになる。経営として成り立たなくなる。

**事務局：**売りに出たら買い手がすぐつく感じなのか。

**委員：**本別はすぐにつく。引き合いが多い。

**事務局：**他の町の畑は買えないの？

**委員：**その町の農業委員会があるので。

**事務局：**借りることはできても買うことは無理と。

**委員：**無理。

**事務局：**地元優先と。

**委員：**そう。

**委員：**資料を見て来て今の話を聴いて本別は若い人がきちんと担っていて、他とは違うと感じた。テレビでは全国的に農業の担い手がいないので困っていると報道していた。本別もそうだと思う。

っていたが、本別では若い人がもっとやりたい、もっと畑がほしいということだから違っている。マスメディアの力はすごい。全国的にそうであると思わされていた。

委員：より安全な食品を生産していくこと。今は大変な時代。科学物質だとか。中標津では15年ほど前に農業をやっている人が有機栽培を行った。酪農も20件ぐらいが集まって、配合飼料を使わないで牛乳を搾ってやっていた。最初はわずかな量であったが、今となつては普通の量で良いものが摂れる。高い値段で出荷できる。独自に販売路をつくって。そういう時代になっている。そういうことにも取り組んでほしい。

委員：先程も出ていた、GPS、IT これからは若い人中心にスマート農業の取り組みがされていく。トラクターが無人で当たり前になる時代がそう遠くなくやってくる。

委員：スマート農業を推進していく必要がある。

事務局：あと5年もすれば農業のやり方も変わっていくのかも。

委員：その点でも土地の集積が進めば作業は行いやすい。

委員：人がやらなくても機械で畑がたくさん作れる。今も出てきているが、トラクターに人が乗っていないで、畑の中を走り回っていく。

事務局：夜でも作業ができる。

委員：テレビでも農業を紹介する番組で、音更の無人トラクターが紹介されていた。

## ②2章2節 1項 商工業の振興、2項 多様な取り組みによる新産業の創出、3項消費生活の向上 について

### 事務局説明

#### 11月14日配布資料1 30ページから62ページ

・基本方針⇒顧客満足度を高める工夫／安心して買い物できる小売業の環境／魅力ある商店づくり／農畜産物などを活かした食料品製造／企業立地の促進／第6次産業創出／雇用と所得確保／若者定住／起業家支援

・事前質問=2-2-1 (1)既存商工業の活性化 **本日配布資料** 5ページ、6ページ

・商店個々の魅力発信は？⇒月刊誌で紹介されている。

・空き店舗の活用を⇒商工会との協議を行う。

(3)研究・開発型企業の育成

・ツリーフェスティバル本別の負担増⇒北海道補助金の関係。

=2-2-2 (1)新たなビジネスチャンスの拡大

・ゲンキッチン成果は⇒これまでは大きな成果は出ていないが、商品の開発に努める。

=2-2-2 (2)新たな支援策の創出

・宿泊業、飲食業の衰退改善⇒最善の方策が得られるよう努める。

・事務局評価B

夜出かけナイト／スターフェスティバル／はしご酒ナイト／ピア彩／いきいき商品券／ゆうゆうカード／商工会が行う経営改善普及事業や商工会運営への補助／企業誘致や新たな分野への参入支援／新商品開発支援 等の実績効果がある

### 委員より意見・質問

委員：本別の飲食店が減っている。農協食堂もやってくれる人を探しているけれどもやってくれる人がいない。

事務局：出前もしてくれるところがない。今、営業している飲食店も後継者がいないところが多

い。危機的。人口が減って行くと飲食店も人口規模に比例していく。

委員：宣伝が足りないのでは。食べた人が美味しいと、スマホで撮って宣伝してくれる。そういうことも取り組んでいく必要がある。

委員：ブログで紹介して「いいね」を得る。それを見た人が食べに行く。それで美味しかったとまた広がりを見せる。

委員：グリーンツーリズムの関係で鹿追で研修会があった。そのときに将来は外国の人たちがどんどん来るようになるから、店を広げておかななくては。ということであった。バスで大勢が来たときに対応できるような。

委員：ここに書かれているようにホテルだとか飲食店が衰退している。本別温泉グランドホテルが金・土・日曜日の風呂営業となって、本別にはゆっくり温泉に浸かる施設が無くなってしまっているのではないかと不安も聞く。足寄でもそうで、良い温泉が出ているのだけれども経営する人がいない。ゆっくりお湯に浸かる場所が無い。

委員：本別温泉は冷泉でしょ。

委員：冷泉で売っている温泉もある。長い時間入って、効能を得る。はじめからそうではなかったもので、冷たいところに入りたい人はいない。サウナに入ってその後に入るのであれば良いのだけれども。

委員：もう少し掘れば良かったのかも。札幌ではここを掘れば温泉が出るとわかっていると聞く。熱いお湯が出るのであれば、道の駅を併設したりして、大型自動車も停まれるようにして、休んでもらう施設をつくるとか。

事務局：町でやるとか、第三セクターで行う体力は無い。町民からも町でやってくれないかという意見もあった。維持費を考えると難しい。新得ではトムラウシ温泉を町が支援すると言ったら議会で否決された。

委員：今の道の駅も狭い。もっともっと色々な物を置ければ。

事務局：冬のあいだは経営が厳しい。春になればこれまでと同じようなスタンスでやりたいとの会社の意向もある。ただ、できるのかどうか心配。夏には人が多く利用していることは事実。自治会新年会で使うとか、冬の増収協力を行えば良かったと今更ながら思うところ。

委員：本別公園から道の駅までトンネルをつくってはどうかとの意見もある。

事務局：総合計画のアンケートにもあった。昔からその話はあると聞いている。

委員：観光振興も良いが、目玉になるものがないと。テレビで放映されていたのが高知で特産物を川の景色を見ながら食事ができる場所を造った。そのように景色を楽しむ場所が本別であればどこかと考えたときに、義経山までは材料を運べない。浦幌坂の駐車場になっている所はどうか。夜景を見に来ている人も多い。

委員：あそこの夜景は本別市街が一望出来てきれい。

委員：そこを利用できないか。管理は国か？

事務局：国道敷地。

委員：その下は畑地だから難しい。旧道ではできるのではないか。

委員：浦幌町との境界は？

事務局：高速道路の下ぐらいまでは本別町だと思われる。

委員：そこに建物を建てたならデートスポットになる。

事務局：きらめきタウンフェスティバルの時には展望駐車場から見ている人もいる。

委員：昔は道路に車がずっと連なって見ていた。その後は警察の取り締まりが入り無くなった。

考えてみたら本別にもそういう所がたくさんある。幽仙狭だっている。

事務局：確かに良い雰囲気。雑音もない。川の流れる音も良い。

委員：もう少し大きな滝があればベスト。

事務局：現在は道路が台風で寸断されていて車では入れない。コンサルタントに言われたのは、何かひとつキラコンテンツがあれば。本別は唯一これがというものがあれば。本別に来なければ買えないものなど。それは各方面からも助言されている。それを道の駅とか観光物産センターとか小売店にも置いてもらえるような物をつくられたら。本別餃子もまだ改良中のもので、一般向けにはまだ出していない。もう少しして、町民のみなさんに使ってもらえるようになれば。あと、お土産品になるような物をみなさんに考えてもらいながら、進めてはいる。

委員：豆で何かないか。

事務局：道の駅では豆の種類もたくさん置いてあるので評価されている。買いに来ていただいている人は多いと聞いている。わざわざ本別ならあるのではないかと買いにくる。

委員：豆の良さを理解してくれている人がいるということ。

事務局：お菓子屋さんで使っていて、ほめられると私たちも嬉しい。専門家によると炊きムラがないとか、いつも同じ時間で炊き上がると、それが大切なことで。中国産のものは、その時々で違うとか均一でないとのこと。本別の豆を使う理由として他のものも良いものがあるかもしれないが、本別の豆を使ってきて問題がないから使いつづけていると。

委員：本別の小豆を使って製餡会社が本別に工場をという話もあったと聞く。福祉のまちということは全国的に知られている。福祉のまちで作った小豆餡というのをやりたい。

事務局：製餡した値段をどれぐらいで買ってくれるか。原材料より安値段ではつukれない。

委員：小豆も値段が上がっている。小豆はつくる人も少なくなり量もない。

委員：エリモ小豆が引き合いが強い。

事務局：耕作面積は減ってきている？

委員：耕作面積は横ばい状態。エリモ小豆は作りにくいため、増えてこない。

委員：突出しなくていいので、なにか一つ光るものがあれば食いつく。

委員：それを探している。

委員：珍しい野菜を育ててみるとか。

事務局：手間がかかるので作らない。札幌のお菓子屋さんでもアピオスをほしいという所や、レストランもあるが、栽培に手間がかかる、細かい作業があることから馴染まない。

委員：若い人は手間がかかるのは敬遠される。

事務局：高収入になれば違うのだろうけれど、買いたい人はできるだけ安く、売の方は手間がかかるのだからとなる。

### ③2章3節 1項 観光、地場産品の振興 について

#### 事務局説明

**11月14日配布資料1** 76ページから83ページ

- ・基本方針⇒交流人口増加のため義経の里本別公園や道の駅の活用／キレイマメ等魅力ある観光資源整備／きらめきタウンフェスティバルの発展／観光資源の情報発信／観光推進体制の充実／新商品の共同開発
- ・事前質問＝2-3-1 (1)魅力ある観光資源の整備 **本日本配布資料** 6ページ、7ページ
  - ・観光施設整備事業費のH29年度⇒義経の館改修工事等を実施

- ・交流人口の拠点本別公園利用拡大に⇒リニューアルに向け関係者と協議。
- ・道の駅駐車場利便性を⇒交通安全対策上抜本策を示すことができない状況。

#### (4) 観光推進体制の連携強化

- ・観光協会の事業費増⇒H29年度までは公園維持管理を委託料として支出されていたものが町補助金に変更となった。

#### ・事務局評価B

本別公園エゾムラサキツツジ植樹／義経の館改修／カムイ山登山道改修／道の駅車中泊者向けスペースの確保／きらめきタウンフェスティバル／アンテナショップH27-29／地場産品販路拡大／キレイマメ商品／ふるさと納税 93品 等の実績効果がある

#### 委員より意見・質問

**委員：**本別公園はすごく良いよねと評判。観光協会でも出ていたことなのだけれどもボートの料金がすごく安い。町外から来る人にも聞いたことがあるが、なぜこんなに安いのか。経費も色々かかっているわけなので、ボートの修繕費や公園の維持費などがこれからもかかってくる訳だし、これからも環境を良くしていかなければならないので、ボートの料金を見直したほうが良いのではないかと。観光協会での話でもかなりその意見は出ていた。今、いくらでしたか？

**事務局：**1そう 30分 200円で、1人 200円かと聞き返されることもあると現場から聞いている。

**委員：**安すぎないかと町外の人が言っている。公園に遊びに来た人たちは、そんな所はどこにもないと。ゴーカートもとても安いと。

**事務局：**1周1人乗り 200円と2人乗り 300円。

**委員：**維持費が出ないのでと心配している。その辺も見直しをして、これからの環境整備に充てるべき。これまでも相当な拠出をしてきている。

**事務局：**ボートを買うとか、ゴーカートを買うのは高いものなので、5年後の償却後に買えるようにすべきかと思う。

**委員：**ゴーカートコースは拡張できないのか。

**事務局：**公園の遊歩道がずっと長く使えたらどうなのか。ただ、保安要員が必要になる。現在も2人でコース外に出たら戻すなども行っている。見えない所まで行けば人を増やさなければならぬ。

**委員：**冬にもゴーカートを乗れる所が紹介されていた。タイヤにピンを打ち込んでやっていた。本別はコースが広い。これをもっと広くできれば。孫たちも本別に来たら必ず公園に行って遊んでくる。そこまで安いと思っていなかった。

**委員：**本別公園に来た人は良い所だと言う。キャンプ場では何週間も滞在している人もいると聞く。

キャンプ場の使用料も徴収すべき。

**委員：**バンガローは料金がかかるのか。

**事務局：**有料。それほど高くはない。

**委員：**キャンプ場使用は無料だから何日もいる。

**委員：**お金をもらうとなると監視員を置かねばならない。人件費のほうが高い。それであれば自己責任で運営したほうが良いのでは。本別の公園を使用する人はきれいに使っている。ゴミも自分たちで処理している。ゴミは散らかっていない。

**事務局：**苦情は来ていない。

委員：ゴミ箱もないのにどこに捨てていくのか。

事務局：きらめきタウンフェスティバルもそう。実行委員でゴミ拾いもするが意外と出ていない。無いわけではないが。

委員：道路脇によくある袋に入ったままドンと置かれている状況ではない。

事務局：マナーは良い。ゴミ処理のお金をキャンパーからもらうことも検討すべきかも。

委員：道の駅にある跨線橋はいらぬ。あれを見て懐かしんだり、感動したりする人はいない。

事務局：あそこにはベンチとテーブルも設置している。そこで休んでもらえるようにと思っているが。元は銀河線で使用していた物を展示していた。展示することによって見ていただけるが、鉄道マニアの人なのか持って行ってしまったということもあり、展示をやめて資料館に展示している。プレートとか、切符切りのハサミだとかの小物類を置いてあったのだが、紛失した。鉄道にちなんだものかと考えていたのだが。

委員：昔の人にしたら懐かしい。たまに通ったときには渡ってみる。でも、もうそろそろ取り壊す時期に来ているのでは。危なくないのか。

事務局：壁は板なので蹴とばせば外れる。躯体とか屋根はしっかりしている。邪魔ですかね。

委員：邪魔とは言わないが老朽化してきている。レールで作ったものだよ。どれぐらい持つものなの。

事務局：耐力診断は行っている。強度検査では大丈夫との結果が出ている。

委員：滑り台をつけたらどうか。

事務局：跨線橋の下には線路を残して。そこからは南北に線路があった面影を残している。

委員：何か良い案はないか。陸別は列車の軌道保存がある。本別はレールを外してしまっている。やはりトンネルで本別公園と繋いでゴーカートで移動しては。

委員：きらめきタウンフェスティバルはこれから大変なのでしょう？

事務局：予算も削減になっていて、今回は2日目の歌謡ショーが夜であったのが、時間を早めて19時終了という形で考えている。それにより機材費が少し抑えられる。もう少ししたら歌手の方も発表できる。

委員：歌手は良い人呼び、人を集めたいのだけれども、名前が売れている人は高い。

④ 4章3節 1項 有効な土地利用の推進、2項 上下水道の整備、3項 下水道の整備  
4項 住宅、宅地の整備 5項 公園、緑地の整備 6項 ゴミ、し尿処理の充実  
7項 環境衛生、墓地、火葬場の充実 について

事務局説明

**1月23日配布資料3** 175ページから201ページ

- ・基本方針⇒計画的な土地利用の誘導／災害に強い水道施設／安全で安定した水の供給／下水道及び浄化槽整備の推進／住みよい住環境の整備／自然豊かで魅力ある公園・緑地整備／義経の里本別公園と神居山、義経山、弁慶洞を一体化した整備／ゴミの減量化と資源としての再利用。町民と共同で環境美化を推進／畜犬飼育管理・マナー指導／公営墓地の計画的な整備／公衆浴場の維持運営支援

・事前質問＝4-3-5 (1)ふれあい公園の整備勢の充実 **本日配布資料** 14ページ

・次年度の公園整備の必要性について⇒長寿命化計画により21か所の都市公園を整備していきます。

＝4-3-7 (4)公衆浴場の維持確保

・公衆浴場の維持について⇒金・土・日曜日・祝日はグランドホテルで入

浴可能。月・水・金曜日は老人福祉センターで入浴できる。

#### ・事務局評価 A

銀河線跡地譲渡／安全安心な水を安定的に供給／下水道による快適な生活環境確保／下水道汚泥の再利用／住宅改修等助成事業／住宅新築助成事業／家再生等推進事業／空き家対策・利活用／お試し住宅の実施／移住の取り組み／安全で利用しやすい公園環境／義経の里本別公園の維持／資源集団回収の推進／清掃週間活動／環境美化の推進／飼い犬の徹底／火葬場・霊園の環境維持／入浴者支援 等の実績効果がある

#### 委員より意見・質問

**委員：**公営住宅の整備について、栄町の公営住宅で古い住宅を壊して新しい住宅に建て替えている。そこに入って環境的にはものすごく良い。ただ、昔はあの辺りにもお店屋さんがあった。今は無くなった。結局は町の中に来なくては物が買えない。とても不便という話も聞く。買い物することを考えた場合に向陽団地がとても良い環境。であれば優先的に向陽町を建て替えるべき。あそこからであればスーパーも近い。北6丁目もあるけれども。建て替える時期もあると思うが、向陽町を重点化すべき。

**事務局：**その意見は他でも聞いているところ。国ではコンパクトシティという構想も出ていて、人口が少なくなってきていて、あちこちに点在するのでは無くて、高齢者の利便性や行政コストを考えたときになるべく町に寄せたほうが、病院だとか買い物するにも近いほうが良いわけで、除雪に、ゴミ収集であってもコンパクトの方が費用が掛からない。そういう考えもある。そのような意見を皆さんからいただかなければ政策に反映されていかない。一部では同じ所に住んでいたのが改築のときには同じ所にしてほしいとの意見もある。ただ、年齢を重ねていくと車が運転できなくなったり、買い物に行けなくなったりだとかを考えていくことも必要。

**委員：**住環境は良くなったのだけれど、生活していくための足が遠くなることで、大変になる。まちづくりセミナーに参加した時も、何を話しても良いということであったから、北1、2、3丁目にある商店をまとめて複合施設の2階にして、1階を駐車場にして、3階を居住スペースにしていくことは出来ないかとの話をした。今、話しのあった一箇所にうまくまとまるということ。まだ、自分はなんとか歩けるから良いけれども、歩けなくなったときに町の中心部に住めたほうが良い。ほんの数分歩いたら、お店屋さんがある。そういう環境づくりはできないものだろうか。

**事務局：**南はフクハラさん、北はAコープさんがある。2つに別れている感じになっている。昔は北8丁目にも商店があり、商店が点在していたものが、個店がなくなってきている中で考えていかなければならない。Aコープでも宅配を行っている。組合員だけでなく、町の人にも対応いただける。そういうものも広まっていけば利用もされていく。また、自分の目で見て買い物したいという意見もあってそれも課題として捉えている。

**委員：**鷹栖町に視察に行ったときに買い物の話があって、カタログで品物を注文するのだけれども、やはり商品を見たいと言うので、週1回ほどボランティアで車に乗せたり、タクシー会社に頼んで店へ行ったりしていた。そうすることで安心して、満足する。高くてもそれは自分の目で確かめて物を買ってくるのだから、それでいいとなっていた。

**委員：**年配者が以前建てた住宅に若い人が入ってもらうことを旭川市で行っている。子育てをしているときには市街地を離れて、自然のある環境のところで生活する。

**委員：**栄町の新しい住宅で若い人たちが入って、オール電化で自然もあって環境的には良いし、

栄町の高齢者を町の中に引っ越してもらおう方法もとれるのでは。

事務局：そうなるとコミュニティ、自治会活動が難しいかもしれない。

委員：まんべんなく振り分けられるようにして。

事務局：自然にそれができれば。

委員：上水道の関係では安全な水となっているが、分析結果であって、おいしくない。取水条件から仕方がないがことだが塩素が強い。それで湧水を汲んでくる人が多い。美蘭別、活込の水はまた違う。その水を本別で飲めるように何か所かに水が出る施設をつくって、汲んでこれるようにできないのか。

事務局：いわゆるミネラル水で、お店からミネラルウォーターを買ってくる必要がないとも言われている。水を提供する側では基準値を守っていくしかないとも。

委員：それを分かっていると言っている。他の町から来た人は言う。これだけ自然がきれいな所で水がおいしくないというのがショックだと。浄水場に行ったことはないのだけれども、濾すなど色々なことをするのでしょうか。心配なのが沢の水が浄水場に入って来て、熱を加えることとかがあるのか？

事務局：沈殿槽で熱は加えていないのでは。

委員：エキノコックスが心配。口から入って感染しても発症するまでは時間がかかる、それを考えるときにどのようにして浄水場では対応しているのか。80℃ぐらいでエキノコックスは死滅する。公園の砂場なども危険。中札内では駆除剤を散布している。

事務局：浄水場の関係は確認する。エキノコックス検査は実施している。

委員：本別の水道水は鉄分が強いと聞いている。直に飲めばおいしい水。けれども塩素を入れなければならぬので、カルキ臭により水がおいしくなくなる。根本から治らないものなのか。本別沢の奥は手付かずの状態。もっと植林をして木を育てればがけ崩れも無くなるし、水もきれいになるはず。木の持つ力で水をきれいにすることができるのでは。一昔前に芽登から水をひく話があった。結局はお金がかかりすぎると立ち消えになった。本別から足寄に引っ越した人が本別から持っていった物を使ったら2日できれいになったという。足寄は芽登から引いているのか、おいしい水だと。ただ硬水、軟水の関係もある。どっちがおいしいのかは個人差もある。芽登は木も多いからうまく浄化されてきれいな水になっているのかと思う。植林してから何年もかかるが何年かかっても実施すべき。柳町は一旦水道水を上浦幌の方まで上げてから降ろす。町場で飲む水とちょっと違う。薄れておいしい水になっている。

委員：下水道は100%の普及率になっているのか。

事務局：そうではない。農村部もある。

委員：農村部は浄化槽でしょ。

事務局：栄町の工事も今年やっている。

事務局：ごみの関係では4月から収集が変わっているが。

委員：時々置いていかれる。まだ、燃やせないものが混じっていることがある。

委員：プラスチックの分別が前の処理と変わった。家でよく違っていると怒られる。後は大丈夫。

事務局：火葬場の建て替えが必要になる時期が間もなく来ると思うが。

委員：火葬場は一度改修しているはず。その以前から使用していたのでかなり古い。

事務局：トイレが和式だったり、車いすが入っていけない。足寄が数年前に新しくした。足寄の物を使用させてもらって、共同で運営となると抵抗はあるだろうか？

委員：いや、ないね。

**委員：**一度、経験したことなのだけれども、足寄の火葬場が午後3時ぐらいでないと開かないと言われ、本別が午前中開いているので本別で火葬した。そのへんのことがある。2つをひとつにすると、亡くなる人が多くなってきているから間に合うのが心配。足寄は国道241号線で交通量が多い。入るときには良いが、出るときには左側からくる車が見づらい。出口が坂の途中であるからなおさら。

**事務局：**本別に近いという点はあるのだけれど。

**事務局：**これは決まった話でなくて、仮定の話。他からの話としては民間が経営する斎場として、火葬している間に遺族が休める部屋をつくってはと。今は式場に戻ってこななければならないけれども、昼食が食べられるスペースを設けてはどうかとの話もある。

**委員：**私は本別方式の方が良い。帯広も2度程行ったことがあるけれども、あずましくない。休憩室にいても知らない人もいて落ち着かない。それであれば一旦帰って来たほうがゆっくりできる。

本別の美里別東下の高速道路の近くに霊園があるけれども、敷地はあれでもうないのか。あちらに火葬場を造るスペースがあるのであればそこに建てては。

**事務局：**墓地として区画はある。火葬場となれば駐車場も造るとなるとそこまでの面積は確保できるか疑問。周辺の住民説明、理解も必要。

**委員：**今のところを壊して建てるしかない。駐車場も取れない。道路も狭い。

**事務局：**住宅の改修や新築に助成をする事業についてご意見があれば。

**委員：**まだやっているのか。

**事務局：**今年度は終了した。

**委員：**次年度はあるのか。

**事務局：**あると思う。もうそろそろ一巡したとの見方もある。新築助成ではあまり伸びていない。定住対策として実施して、住んでもらえる体制づくりをしてきた。

**委員：**空家も人が住まなくなってから時間が経てば修繕費が大きくなる。冬は寒いから断熱対策をしなくてはならない。寒かったら住まない。

**事務局：**それではこれまでお話をいただきましたことを事務局としてまとめまして、次の審議会で報告させていただくのと計画に反映をさせていきたい。次にお集まりいただくのは3月2日18時30分から役場3階会議室で審議会を開催する。

**新津部会長：**長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。次回は3月2日ということでまたお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。